

江戸から箱根へ、往時の旅をいまに歩く

12月22日『旧東海道 宿場散歩』を発売

駅伝コースの原点・旧東海道でまち歩きと道草を楽しむ一冊

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役 社長執行役員：松信 健太郎）は、2025年12月22日（月）に新刊『旧東海道 宿場散歩』を刊行いたします。

正月の風物詩の駅伝コースとしても知られる国道一号線の原点が、江戸時代の五街道のひとつ「東海道」です。日本橋から箱根までの間には十の宿場が置かれ、江戸と京をつなぐ物流・文化の要衝として賑わいました。本書では、かつての宿場街を現地の案内人とともに歩き、史跡、建物跡、名産品、歴史ある寺社などを最新の情報とともに紹介します。街道歩きに携行する1冊としてはもちろん、駅伝観戦のお供にも役立つ1冊です。

■出版の経緯

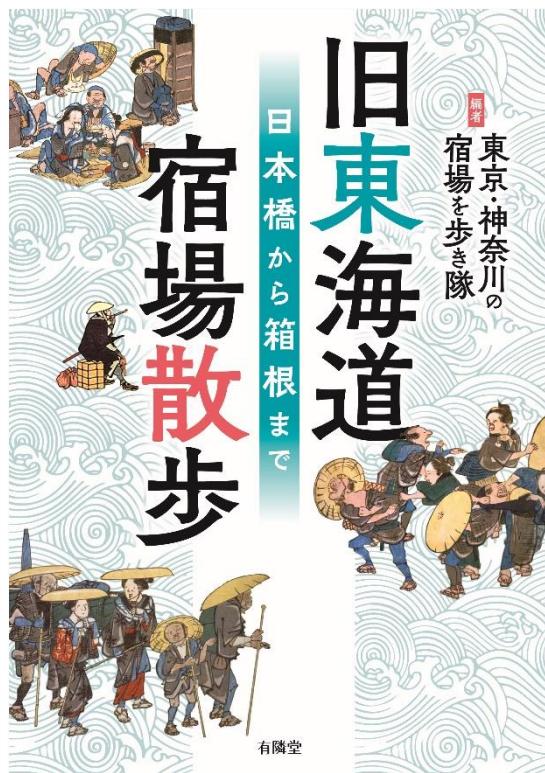
江戸時代の五街道の中でも、旧東海道は「完全踏破」を目指す“街道歩き”愛好家の気ルートとして注目を集めています。その一方で、各宿場の文化や暮らしを気楽に楽しむ「まち歩き」スタイルにも関心が高まっています。こうした流れを受け、日本橋から箱根までの10宿（品川・川崎・神奈川・保土ヶ谷・戸塚・藤沢・平塚・大磯・小田原・箱根）に加えて、箱根八里や間の宿までも網羅。各宿場に精通した案内人の協力を得て取材を重ね、“宿場の中の道草”を楽しみながら歩ける構成としました。江戸期の歴史と現在の街の表情をつなぐ、まさに“時を歩く”一冊です。

●書名：『旧東海道 宿場散歩』

- 編者：東京・神奈川の宿場を歩き隊
- 出版社：有隣堂
- 定価：税込1,650円（本体1,500円+税）
- 体裁：A5判・本文184ページ
- ISBN：978-4-89660-262-3
- 発売日：2025年12月22日（月）
- 取り扱い：有隣堂各店（一部店舗除く）、全国の書店

【目次】

- 日本橋 活気にあふれた江戸随一のまち日本橋北詰界隈
- 品川宿 千年前の湊から発展し続けた江戸に人気の遊興の地
- 川崎宿 六郷の渡しと一体化した宿場
- 神奈川宿 東海道随一と謳われた繁華な宿場は“幕末歴史の証人”でもあった
- 保土ヶ谷宿 金沢・杉田への道が江戸期の宿場を彩った
- 戸塚宿 交通の要所だった宿場は今も繩で繋がる駅伝のまち
- 藤沢宿 大山道、江ノ島道など東西南北の道が賑わいをつなぐ
- 平塚宿 家康ゆかりの松林に囲まれた古い歴史を誇る宿場だった



- 大磯宿 海と歴史に抱かれた宿場町
- 小田原宿 東海道五十三次宿場繁昌番付東の横綱小田原宿
- 箱根八里と箱根宿 箱根八里の中間点、遅れてできた箱根宿
- 東海道と宿場

■本書のみどころ

●各宿場の案内人とともに歩いてつくった一冊

各宿場の歴史に精通した案内人とともにコースを歩きました。当時を偲ぶことのできる史跡や建物を巡り、現地ならではの臨場感を丁寧に再現しました。

●記事、写真、地図の連携で道草散策をサポート

宿場の歴史記事と現地の写真を、地図情報と紐づけました。歴史と風景、そして場所の情報が一体となることで、読者は気ままな「ふらり散策」でも迷うことなく、自分のペースで街道歩きの魅力を追体験できます。

●2025年最新取材による「東海道宿場散歩」の決定版

2025年夏、すべての宿場を現地取材。街並みの変化、地域の息づかい、そして宿場で暮らす人々の思いを丹念に記録しました。歴史的背景から現代の姿までを網羅した、東海道を歩く楽しさと奥深さを伝える決定版です。



紙面イメージ

■有隣堂の出版物の紹介

<https://www.yurindo.co.jp/publication/book/>